

地域の存続・再生のあり方

平成20年3月21日(金)

存続・再生のあり方検討
●施策の方向性とメニュー

地域資源・資産

人材・組織

交流・連携・支援メニュー

地域産業・経済

特産品・地域ブランドの育成による地域イメージの向上
1次+2次+3次=6次産業化による高付加価値化
UIJターナー者の雇用推進による新たな担い手確保



地域ブランドの育成



生産・加工・販売



UIJターナー受入れ

生活サービス

地域の規模に応じた効率的な公共サービスの提供
既存（空き）施設の複合利用による生活機能集積
効率的なICT基盤の整備



空き施設の有効活用



既存施設の複合的な利用



事業組織・手法の見直し

地域コミュニティ・交流

地域資源を活用した都市交流振興
コミュニティ単位の見直しによる自立支援
伝統芸能・技術の地域教育プログラムへの活用
集落地域へのUIJターナー者受け入れ支援



地域資源の活用(空き家再生)



集落点検等の実施



伝統を次世代へ継承*

国土・資源保全

国土・資源保全のための支援
国土・資源保全のための広域連携強化
国土・資源の有効活用



森林・田畑の多面的機能維持



棚田等景観資源保全

情報の利活用

- ・情報発信コンテンツ開発
- ・情報発信システム開発
- ・情報発信ツール・端末開発
- ・情報発信拠点形成

外部人材の投入

- ・専門家派遣
- ・外部ボランティア投入
- ・教育機関など外部機関との連携
- ・半定住型など新たな居住スタイル定着への支援体制の構築

仕組み・事業制度の構築

- ・広域交流・定住支援
- ・資源循環・有効利用
- ・地域経済循環構築支援
- ・地域公共交通など生活サービス提供・助成
- ・自立的な地域づくり計画策定支援

メニュー・プログラム開発

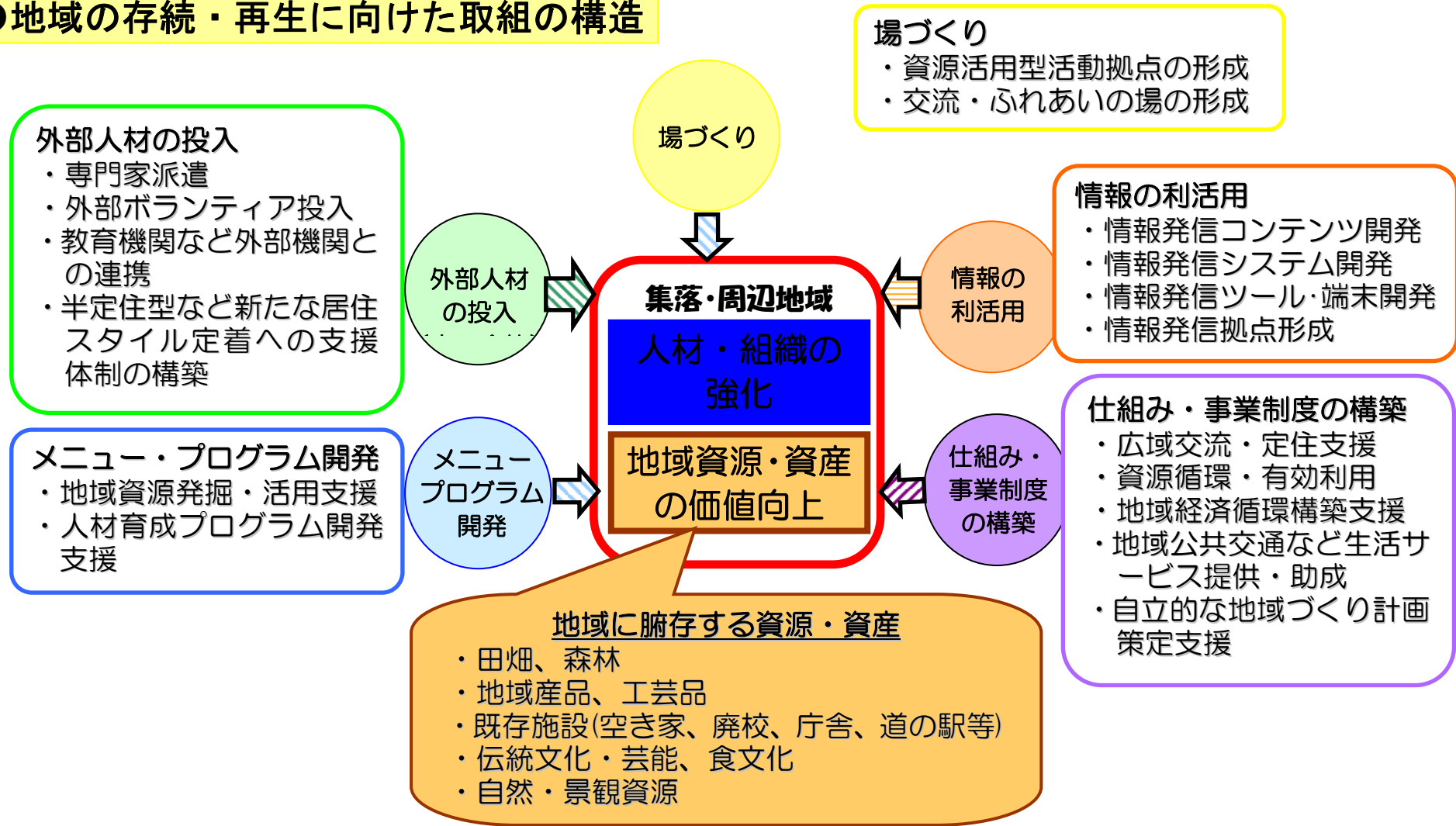
- ・地域資源発掘・活用支援
- ・人材育成プログラム開発支援

場づくり

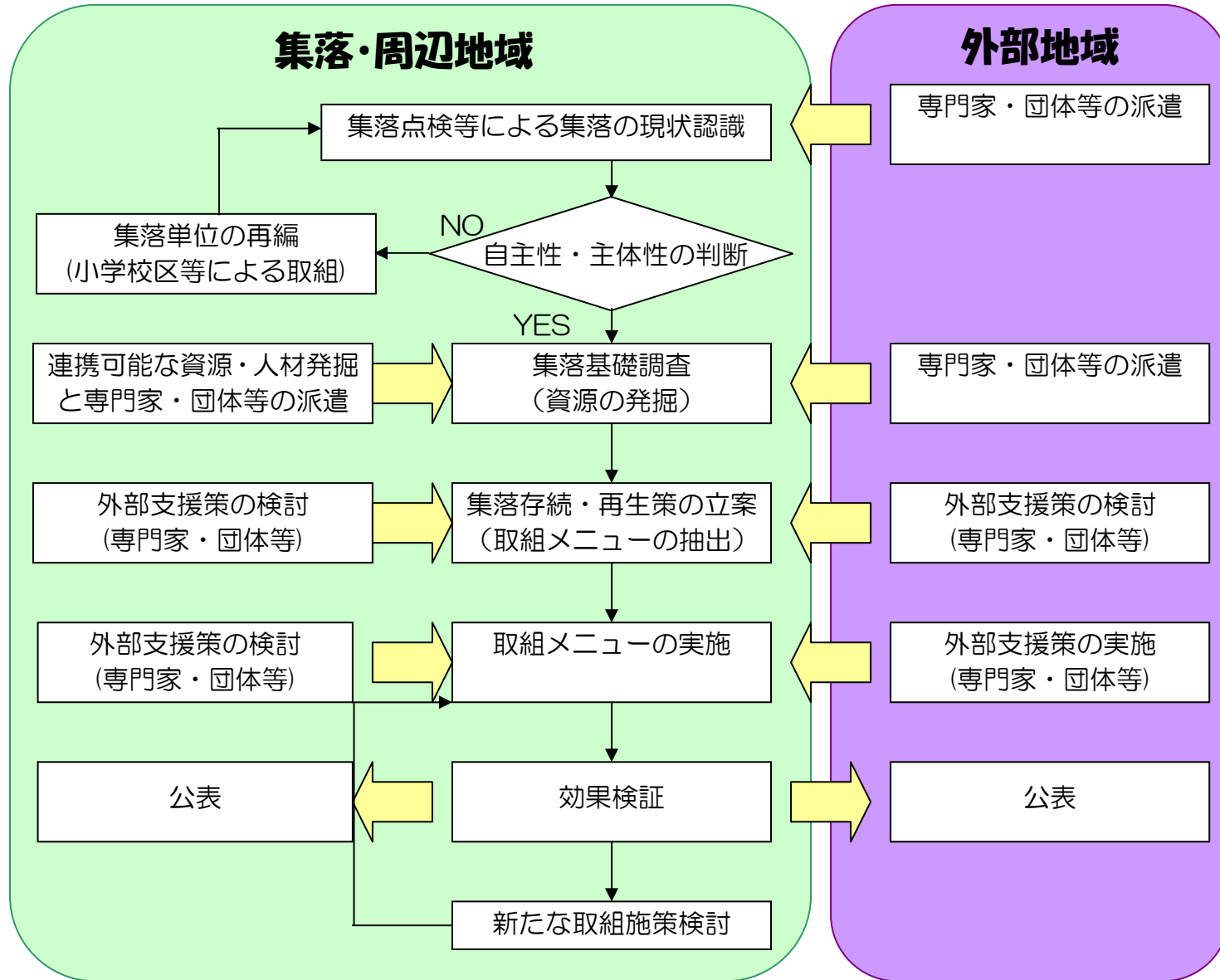
- ・資源活用型活動拠点の形成
- ・交流・ふれあいの場の形成

※出典：「かりこぼん 香里行本～にしめらの香りの里あんない」宮崎県西米良村

存続・再生のあり方検討
●地域の存続・再生に向けた取組の構造



存続・再生のあり方検討
●存続・再生の取組フロー（案）



社会実験企画イメージの検討

● 存続・再生の取組における必要条件（案）

主体性・自主性

- ① 集落等の存続・再生策をとりまとめ、住民や関係機関との合意形成を図れるリーダーがいること
- ② 集落等の話し合いにより、存続・再生策を策定し、独自の予算、資産の活用により集落維持活動を実施していること

存続・再生効果

- ① 社会実験を行う目的(地域の現状・課題)が認識されていること
- ② 人口減少・高齢化が進展する集落等に対する存続・再生効果が見込まれる内容であること
- ③ 存続・再生効果が即地的に見込まれること（地域産業への波及効果、地域資源・資産の活用、集落等の生活環境改善、都市部との交流、等）

実現性

- ① 社会実験を実施する関係者の協力体制が出来ている、あるいは出来る見込みがあること
- ② 社会実験期間内の工程、事業予算、他事業との連携について考慮されていること
- ③ 対象地域の活用可能な資源（景観、空き施設、森林、田畑等）や改善されるべき生活サービス（公共交通）等があること
- ④ これまでの取組状況や他の施策との連携の状況

検証性

- ① 存続・再生の取組に関係する目標指標が設定され、現状値と目標値を明示すること(指標の計測方法・時期についても記載)
- ② 取組の内容・効果が公表可能であること

支援要望

- ① 集落点検、ICT、コミュニティビジネス等の取組を行う上での専門家支援
- ② 広域連携形成に向けた支援（NPO 団体、教育機関、流通等）
- ③ 各種制度を見直す上での法規制緩和 等

社会実験企画イメージの検討
 ●社会実験企画テーマ（案）の抽出

地域の存続・再生に向けた問題・課題

課題分析の視点

地域資源・資産

人材・組織

社会実験企画テーマ

地域産業・経済

農林水産物の市場価格の低下
 市場ニーズの変化

産業の担い手の高齢化
 農林水産業等の低迷に伴う担い手・後継者の流出

マーケティングアプローチ
 ～消費者志向の地域ブランド開発～

生活サービス

生活サービス提供施設（介護施設、図書館等）の維持の負担増

生活サービス提供の人材流出
 組織体制運営の負担増

複合生活サービス拠点
 ～利便性向上拠点の既存施設活用モデル～

地域コミュニティ・交流

空き家、廃校など遊休資産の増加 共有財産の管理水準等の低下

地域コミュニティ活動の低下
 集落機能の担い手の流出

多世代交流プログラム
 ～お宝プロデュースとファンクラブ～

国土・地域資源保全

農林地の管理低下
 景観崩壊や国土保全機能の低下の懸念

集落の共同作業の実施困難
 伝統文化の継承困難

“暫定居住”プログラム
 ～協働型ライフスタイル～

■社会実験企画テーマ（案）による地域の存続・再生への効果の概念図

社会実験企画イメージの検討

●テーマ（案）：マーケティングアプローチ ～消費者志向の地域ブランド開発～



社会実験企画イメージの検討

●テーマ（案）：複合生活サービス拠点 ～利便性向上拠点の既存施設活用モデル～

問題・課題と活用資源

	地域資源・資産	人材・組織
問題等	生活サービス提供施設の維持の負担増	生活サービス提供者の流出 組織体制運営の負担増
資源等	道の駅や特産品販売などの観光・交流施設	少量多品種でも質の良い生鮮食品や地元特産物の調達・販売の仕組み

取組の目的

既存の観光・交流施設の外向きから内向きへの発想の転換

「道の駅」等の観光・交流施設を活用し、観光者のみならず、地域住民の利用の視点からみた、集落の新たな生活拠点としての有効活用を図る。

地域の人々の安全・安心な暮らしを支える複合拠点の形成

公共交通ターミナル、飲食・商店、医療・福祉・保健、金融などを集約し、利便性の向上と維持管理費の軽減を両立することで、人々が安全・安心に暮らせる生活サービスの安定供給を図る。

新たな需要を掘り起こすツーリズムなど広域連携の新展開

広域的な交流施設の連携によって、新規需要を掘り起こす広域連携ネットワークを構築する。

社会実験モデル



目標・効果

人々の安全・安心とにぎわいの創出

道の駅などの観光交流拠点の複合・多目的利用による機能の高度化

居住者の利便性の向上や来訪者との交流による新たなにぎわいの再生

連携交流支援

公共交通の路線・運行方式の見直しや施設リニューアルへの専門家アドバイス
施設リニューアルへの支援

関連機関の組織横断的な連携・調整による多様な生活サービス機能の集約立地のモデル構築
医者など専門家の派遣

広域連携の仕組みや組織体制構築への支援
市場開拓につながる新たなツーリズムの企画・運営等への専門家アドバイス

社会実験企画イメージの検討

●テーマ（案）：多世代交流プログラム ～こだわりの発見とファンクラブ～

問題・課題と活用資源

	地域資源・資産	人材・組織
問題等	空き家、廃校など遊休資産の増加 共有財産の管理低下	地域コミュニティ活動の低下 集落機能の担い手の流出
資源等	活用可能な廃校などの遊休資産	つながりの深い地域コミュニティ

取組の目的

多世代向け体験交流事業の創出

山村留学のノウハウを活かしつつ、廃校や自然環境・地域産業資源を活かした高齢者や女性など多様な人々を呼び込む体験交流事業を展開する。

こだわりの発見、自分発見の楽しみの提供(個のつながり)

地域資源や地域の人々とのふれあいを通じて、地域の埋もれた素材の発見や自分の存在感の発見、地域の人々との語らいなどを通じた地域イベントや産業振興への参画など、地域との“縁”を深めていく。

外に広がるファンクラブの構築(グループのつながり)

体験交流で来訪した人々によるファンクラブを結成し、地域の外部応援団を組織化する。

社会実験モデル

STEP2 こだわり発見が育む地域の縁づくり

交流を通じた出会いから、個人と個人とのつながりへ発展し、“縁”を深める。



STEP1 多世代向け体験交流プログラムの構築展開

廃校等を活用した滞在拠点の形成



多世代に向けて体験交流プログラムを構築



STEP2 外に広がるファンクラブの結成

体験交流参加者の輪を組織化



目標・効果

外部人材の多様な地域とのつながり創出

遊休資産の活用と、地域に埋もれた資源の発掘・付加価値の向上

地域を中心とした外へと広がる交流の展開

連携交流支援

個人と地域とをつなぐコーディネーターやインタープリターの育成

多世代向けの体験交流プログラムの開発・運営や受入側の人材育成や組織構築への専門家アドバイス
滞在拠点の整備等への支援

ファンクラブをつなぐ ICT 活用の情報交流の仕組みづくりへの専門家派遣やアドバイス
ファンクラブ運営支援

※1 出典：「村勢要覧 星野村 21」福岡県星野村
 ※2 出典：「西米良型ワーキングホリデー」宮崎県西米良村
 ※3 出典：「かりこぼん 香里行本～にしめらの香りの里あんない」宮崎県西米良村

社会実験企画イメージの検討

●テーマ（案）：“暫定居住”プログラム ～協働型ライフスタイル～

問題・課題と活用資源

	地域資源・資産	人材・組織
問題等	農林地の管理低下 景観崩壊や国土保全機能の低下の懸念	集落の共同作業の実施困難 伝統文化の継承困難
資源等	活用可能な空き家 自然環境に恵まれた自然環境	元気な地元経済団体 Uターン経験者

取組の目的

UIJターン希望者のニーズに合致した定住への準備プログラム化
UIJターン希望者のニーズに合わせた定住促進に向けて、生活スタイルを確認する準備のための“暫定居住”のプログラムを構築する。

UIJターン希望者への空き家の提供
“暫定居住”から“定住”まで、UIJターン者が自由に選択できるよう、リフォームした空き家を賃貸にて提供する。

定住希望者と受入側との相互協力による新たなライフスタイルの構築
定住前に地域を知るための体験機会の提供として、青年団などへの参加機会などを提供する。また暫定居住者の技術や経験を活かした産業の拡充や起業機会を提供する。

社会実験モデル



社会実験企画イメージの検討

●社会実験企画テーマ（案）による地域の存続・再生への効果

地域の存続・再生に向けた効果

課題分析の視点

社会実験企画テーマ

地域資源・資産

人材・組織

地域産業・経済

マーケティングアプローチ
～消費者志向の特産品開発～

消費者優先の資源発掘・
製造・流通・販売プロセス
構築による資源価値向上

一次産業から製造・流
通・販売までの連携体制
の構築・強化と雇用創出

生活サービス

複合生活サービス拠点
～利便性向上拠点の既存施設活用モデル～

道の駅などの観光交流拠
点の複合・多目的利用に
よる機能の高度化

居住者の利便性の向上や
来訪者との交流による新
たな賑いの再生

地域コミュニティ・
交流

多世代交流プログラム
～お宝プロデュースとファンクラブ～

遊休資産の活用と地域に
埋もれた資源の発掘・付
加価値の向上

地域を中心とした外へと
広がる交流の展開

国土・地域資源保全

“暫定居住”プログラム
～協働型ライフスタイル～

空き家とその活用バンク
の仕組みを活かすことで
遊休資産を有効活用

UJターン促進に向けた、移
住者と受入住民との協働
型ライフスタイルの構築